

平成29年度企画提案型協働事業 各提案の審査経過及び委員会意見

	提案事業概要 (名称、団体、内容)	アイデア審査 ／公開審査会 (8/18)	最終審査 ／公開審査会 (10/6)	積算金額 関連部署
1	道作古墳群歴史広場の維持管理事業	—	適 (適8, 否0)	1,008,000円 生涯学習課
	NPO法人小林住みよいまちづくり会			
	道作古墳群歴史広場の草刈り、樹木伐採、落葉かき、機材管理等年間の維持管理や、文化財普及イベント等の活用事業を行い、地域住民の憩いの場を整備する。			
2	地域住民への身体活動増進プログラムの提供	—	適 (適8, 否1)	1,150,000円 健康増進課
	ALipro (アリプロ)			
	歩数計とITデータを援用して、運動習慣のない地域住民に、散歩、買い物、家事など日常的な身体活動の増進を促すとともに、講演会を通じた普及活動、市民ボランティアの育成等を行う。			
3	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	—	適 (適9, 否0)	3,065,000円 都市整備課
	NPO法人エコネットちば			
	竹袋調整池と周辺地域において、四季の花植え、緑地の維持、植栽の管理、ごみ清掃を年間を通して実施し、豊かな景観維持と快適な環境保全を行う。			
4	印西市木下地区歴史講座	—	適 (適7, 否2)	510,400円 生涯学習課
	木下まち育て塾			
	吉岡まちかど博物館や地域の公共施設等を会場に、「木下河岸から小網町行徳河岸へ—市民と学ぶ江戸・東京への道、木下街道—」と題し、木下河岸および舟運の歴史を学習する講座、講演会、郊外学習等を開催する。			
5	自主防災組織運営の知識の啓発・普及事業	可 (可8, 否1)	適 (適9, 否0)	221,900円 防災課
	印西防災研究会			
	団体会で作成した防災マニュアルを活用し、印西市の自主防災組織の構成員に対し、研修会等を通じ、防災知識の啓蒙・普及に取り組む。			

	提案事業概要 (名称、団体、内容)	アイデア審査 ／公開審査会 (8/18)	最終審査 ／公開審査会 (10/6)	積算金額 関連部署
6	イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業	可 (可 7, 否 2)	適 (適 9, 否 0)	1,387,000 円 農政課
	里地里山保全ねっと			
7	小中学生に全国屈指の吹奏楽を提供する	否 (可 0, 否 9)	—	—
	NPO法人アンサンブルはなみずき			
8	印西市の小中学生に演奏の手本となる吹奏楽を直に体感し、明確な目標を持ってもらうため、千葉県内のレベルの高い高等学校吹奏楽部の特別公演を開催する。	可 (可 7, 否 1)	適 (適 7, 否 1)	300,000 円 環境保全課
	武西の里山 保全と調査事業			
9	高齢者支援の為にエンディングノートの作成と配布	否 (可 3, 否 6)	—	—
	エンディングサポート風			
10	高齢者への支援事業として、印西市独自のエンディングノートを作成し、高齢者を対象に無料配布する。	可 (可 6, 否 3)	適 (適 9, 否 0)	702,000 円 生涯学習課
	みんなでつくる「木下街道膝栗毛」リターンズ			
	印西ふるさと案内人協会			
	平成20年まで市と各種団体が行っていた「木下街道膝栗毛」を、現在は団体が引き継いで実施しているが、節目となる平成30年に以前の形で復活させ、新たな事業の発展につなげる。			

※提案1～4 前年度実施事業（最終審査のみ）

【提案1】道作古墳群歴史広場の維持管理事業

平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 文化財の保全活用によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。将来の展望を見据え、郷土の歴史の新たな発信拠点となるよう、提案者と市の取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

優れた協働事業

- ・市との役割分担が明確であり効果の高い事業であると思う。
- ・継続して、今後も活動を進めていただきたい。
- ・協働の具体性、広がり、ビジョンが明確なプレゼンであった。
- ・すばらしい活動と思います。又大変な重労働もともなうと思います。スタッフの高齢化もあろうかと思えます。継続的に体制の充実出来ることを期待します。

市の明確なビジョンが必要

- ・道作古墳は市として将来的な展望はあるのか？是非発展した展望を持って欲しい。
- ・市の今後のヴィジョンがえがかれた中での市民と行政の協働が早く実現できればと思います。
- ・市としてのビジョンがほしい。環境整備だけではもったいない。将来どうしていきたいのか明確な目的をもったほうがよい。
- ・毎年古墳周辺の草刈りと道造りとなっていますが、何か他の発展事業は考えられないか。
- ・公園をどのような形につくっていくかの協議会が必要なのではないのでしょうか。
- ・公園の現状をいじするために力をそそいでおられ思うように形をえがけないジレンマが感じられました。
- ・1～6号墳の広域公園出来る様、活動よろしくお願ひします。イベント等参加したいと思ひます。

引き続き検討を

- ・道作古墳群からの出土品の詳細、周辺地域の古墳群との関連、歴史的、文化的価値について、広く市民に伝えられるような取組みに力を入れて頂きたい。（特に市の担当課）
- ・市民への歴史、文化財の関心を高めるために学校との連携を図ったらどうか。
- ・経費内訳において人件費単価が@1,000/hとなっている。最近の最低賃金より高いので実施に当たって精査していただきたい。

【提案2】 地域住民への身体活動増進プログラムの提供 平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 市民の健康増進に資する社会的ニーズの高い事業です。より多くの市民の参加を促し、地域が取り組む予防医療の新たなモデルとなるよう期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

社会的ニーズの高い事業

- ・社会的ニーズの高い事業である。
- ・是非、印西市の保険費用が減る様、活動していただきたい。
- ・活動はユニークで活動の成果がでることが期待される。
- ・事業の基盤がしっかりしていて安定性がある。

参加者数と費用対効果に課題

- ・参加者を増やす方法を検討する必要ありと思う。
- ・対象者の分析、新規対象者を増やす工夫をして下さい。
- ・継続できてもコストパフォーマンスは厳しく問われる事業。人集めに何より注力を。
- ・事業化については、適としますが、H30年度の実施段階で
（1）事業計画 ・加入人数の増加 ・費用対効果の見直し、をおねがいします。
- ・継続事業としては集客等実績に乏しい？新規事業であれば適としたいが。

蓄積したデータの有効活用を

- ・運動の健康への効果を継続的に調査し、データとして蓄積してゆけるように工夫して頂きたい。特に市の健康データとして活用できるように考えて行って頂きたい。
- ・協働事業実施のメリットを活かすためにデータ収集、蓄積、活用を積極的にしてほしい。市民活動で終わるのはもったいない！
- ・効果の確認はD I（ディフュージョンインデックス）でも良いのではないか。（本人の感覚）

【提案3】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 景観保全によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。市と協働で市民の憩いの場を継続的に維持する取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

地域にとって貴重な事業

- ・調整池周辺の住民ニーズが高いと思われる事業である。
- ・地域起しとして大切な事業だと思う。

継続に向け市と検討を

- ・市側のインフラ整備とエコネット千葉さんの活動範囲は明確になっているようであるが、市民は全体として見るので総合的視点で取組んでほしい。
- ・団体と担当課と情報共有を進め、市にとってよい方向で維持していけるようしてほしい。
- ・今後の継続に向けて、「担当課」の積極的な動きに期待したい。
- ・10年近く継続して、協働事業として実施されていることから、今後どのように継続される計画かを明確にさせていただく必要があります。（市とも相談してください。）
- ・周辺部の美観のみならず、調整池の機能が維持できるよう市の担当課と役割分担し維持管理を行ってほしい。
- ・協働事業外になったときどのように展開していくか、たちどまって協議することが必要と思いました。

維持管理に課題あり

- ・池に雑草多く、蓮も多過ぎるため湿地化して調整池としての機能が劣化している。
- ・桜の木が育たず観桜としては物足りない。

【提案4】印西市木下地区歴史講座

平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 まちの歴史継承、地域の文化振興に貢献する貴重な事業です。実施の効果が市民に還元される事業展開を推進してください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

積極的な姿勢に好感

- ・積極的な事業展開は好ましい。成果がでているが今後きちんと検証することが必要。
- ・印西市民に広く講座内容を伝える活動を更に進めて頂きたい。ラーバンネットとの協働活動は評価できます。視聴者の方々が内容を理解できるような取組みを考えて頂きたい。
- ・地道な啓発、広報による成果を期待しています。
- ・市民のみならず近隣の市町村団体等にも呼びかけ、印西の観光や、印西市への興味を持っていただける活動につながると良い。

市との連携強化を

- ・印西市がもっとかかわっていくことを望みます。
- ・市と連携して市民講座の一つのような形、シリーズ化出来ないか。
- ・課題を克服されて、活動自体に広がりが出て来た。市民への還元という意味を兼ねて市の生涯学習への組み込み等を考えていただいたら良いと思います。

市民のための事業になっているか

- ・予算がちゃんと印西市民に還元されているのか？行政として検証する必要があると思う。
- ・市民講座に他の市町村からの参加者が印西市民を上回っている現状は、いかがなものか。
- ・受講生が市民6名、市外10名では市の協働としてはいかがか。ラーバンでは何人見ているのか。
- ・「市民への還元」というところをもう少し意識した事業にしてほしい。
- ・良い活動と思うが参加が少ないのが残念である。
- ・月例講座を広く直接受講できる様、会場、募集方法 考えていただきたい。

【提案5】 自主防災組織運営の知識の啓発・普及事業 平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 地域と行政の課題を的確にとらえた、市との協働にふさわしい企画提案として評価します。啓発活動の具体的な成果に期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

市との協働にふさわしい事業

- ・社会的ニーズが高い事業である。
- ・狙いは、市の方針と合致している。具体的な活動の成果を期待します。
- ・市と団体のタイアップがよくできていると思います。
- ・自主防災組織の未設置地域の原因分析と対応についても市と協力して考えていって頂きたい。
- ・大災害が起きた時、スムーズに救助できる様、自治会等に啓発、普及していただきたい。市と協働で。

目標達成に向け努力を

- ・今年度最低限できるゴールは何か、そこを明確に1つずつ進めていただきたい。
- ・担当課と協力して来年度の目標達成できることを、期待します。
- ・各団体との連携や啓発活動は大変根気がいることと思いますが、ご健闘を祈ります。
- ・新しい組織なので先細りしないか不安です。

平成29年度企画提案型協働事業（アイデア審査）
「自主防災組織運営の知識の啓発・普及事業」
提案に関する委員会付帯意見

- 1 実施の効果が期待される企画提案です。市の担当課や町内会等との密接な連携が不可欠だと思われるので、市との協議では、協働の役割分担の明確化に努めてください。
- 2 事業の効果を高めるため、実践的な実施手法の検討及び安定した実施体制の構築に努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

実施の価値あり

- ・自主防災組織の普及等は印西市にとって必要な事業で協働で行う価値があると考えられる。
- ・自主防災について 共通のスキルと連絡システムを充実させるのは必要なことだと共感しました。
- ・大変意義のある取り組みで是非継続的に実施していただきたい。特に、自主防災組織連合会の立ち上げは重要と思われるので努力して頂きたい。（期待）
- ・印西市の状況、課題について把握されている。

行政・自治会との連携が不可欠

- ・市の防災課との協業がうまくかみ合うようであれば大変良い提案かと思う。
- ・自助・共助の実践力を育成する取組みとしてより高い効果を発揮できるよう団体と行政の連携を深めて下さい
- ・地域・自治会それぞれで抱える課題は多様だと思います。課題の把握、解決策の立案と行動が自律的に行える人材が育成できるよう、育成手法について行政・自治会とも意見交換をしながら、より良いものに仕上げてください。
- ・各組織の防災意識と実践力を向上させる。手法・取り組みは、大変手間がかかると思いますが、画一的にならず、各組織の実態に合わせた手法を行政・自治会担当者とコミュニケーションを取りながら柔軟に取り組んでください。
- ・市との連携方法 マニュアル：「印西市のマニュアル」はないか。市のマニュアルとの関係は。

実施手法の工夫を

- ・自主防災組織の未設置地域の解消については新しいアイデアを持って市と協力して実現して頂きたい。（要望）
- ・住民が自発的に活動に参加できるよう工夫して下さい。
- ・実態調査（大事です）～研修企画～実施～設置促進 を進めていって下さい。
- ・研修会など自治会以外にも、公民館プログラムの様に、広く活動した方が広まるのではないのでしょうか。
- ・自主防の課題は住民の理解、運営するマンパワー、資金調達等様々。更に水害の多い地区、ガケ地、台地上のマンション等予想される災害も多様。普及の実を上げるにはケーススタディが有効と思われる。その前提で賛成。
- ・マニュアルの見本が見たいです。
- ・市に頼り過ぎのような気がする。
- ・自主防災組織の増加の為の具体的な取組が希薄。

【提案6】イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業 平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 地域課題を的確に捉えた企画提案として評価します。先駆的なモデル構築に向け、成果指向の事業となるよう期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

効果の検証が不可欠

- ・テストケースとして、成果を出してください。
- ・今後の継続性についても検討をお願いします。
- ・大変な作業と思います。人員確保含め継続活動となるように（一過性でなしに）お願いします。
- ・効果はよくわからないがイノシシ被害は大きな問題でありとりあえず頑張ってください。
- ・担当課もトライアルであると認識されている。きちんとケーススタディとして活かして欲しい。
- ・里山の整備が獣害対策として効果があることをモニタリングし今後の獣害対策の一助となるようにして頂きたい。
- ・検証事例として評価できるよう取り組んでほしい。

URの関与が必要では

- ・UR用地についてはURにもかかわってもらう必要があるのでは。
- ・メインがURならURに対応してもらっては。
- ・今後所有のURにも検討、対応してもらえる事業にすることも考えて欲しい。

慎重な検討を望む

- ・除草剤を利用すればコストは下がると思われます。
- ・特定の場所を対象とすることに対し、住民の不満はでないのか。

平成29年度企画提案型協働事業（アイデア審査） 「イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業」 提案に関する委員会付帯意見

- 1 アイデアの意義は理解できますが、事業計画の作成に向けては、実施区域の地権者との調整方法や、地域住民への周知方法について、十分検討してください。
- 2 一定の事業効果を得るためには、イノシシの生態環境を把握する必要があると思われます。市との協議では、そうした観点からの検討も行ってください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

事業の意義は理解

- ・地域住民のニーズも高いと思われる。
- ・事業内容に具体性が見られる。
- ・里山保全、「大変な作業」かと思うが、実現可能であれば是非進めてほしい。
- ・放棄地と市民の活動をつなぐための実現例として、よい事業になればよいと思います。
- ・提案内容から実現可能性があると感じられます。
- ・長期的な取り組みになると思いますが、ぜひ多くの人の参画を得ながら実現してほしいと思います。
- ・(要望) 美瀬地区のみならず、他地域でも適用可能となるようなモデルケースとして実施して頂きたい。(地権者との調整や行政との役割調整を含む)

地権者や地域との関係に課題

- ・私有地の整理は、地主に負わせるのが一般的。公共事業としては賛成できない。
- ・地権者との調整が先と考える。それが出来てからでないと、審査検討できないと思う。
- ・地権者との調整が今後の大きな課題である。
- ・私有地を保全しようとするとき、その私有地のある地区に働きかけ、地区で情報共有することからはじめることが必要と感じました。
- ・次の審査ステップに向けて、公有地と民有地にまたがる課題に対応するためのルールづくりについて、団体・行政の知恵を絞って、良いアイデアを積極的に生み出していきたいと考えています。
- ・保全作業にボランティアが集まる方法と事例に注目していきたいと思います。

イノシシの生態調査の必要性

- ・整備対象地の選定ルールを行政と協力しながらある程度明確にしていく必要が出てくると思います。イノシシの生態の特徴を踏まえた選定ルールを構築すると今後の活動がしやすくなるのではないのでしょうか？
- ・地域別のイノシシの生息個体数の把握ができていると、対策地の優先順位の決定等、様々なレベルにおける判断に資すると思います。
- ・(要望) イノシシが他地域に移ったり住宅地域に出没するようにならないように配慮して頂きたい。
- ・イノシシの捕獲についても、市と協働して推進して欲しい。
- ・イノシシの生息環境教育ができるといいですね。

【提案7】小中学生に全国屈指の吹奏楽を提供する

各委員の参考意見（ふせんの転載）

手法に疑問

- ・アイデアは独創的だが吹奏楽に特化するの市の協働事業としては疑問である。
- ・印西市の吹奏楽レベルアップを図る活動として有効性は認められるが、行政との協働事業としては、日々の吹奏楽教育の充実など地道な基盤（ソフト面の充実等）充実が第一と考えられる。
- ・（要望）合同練習を主体とした企画とした方が、協働事業としてはふさわしいのでは？
- ・この事業により、提案効果が得られるかが疑問。
- ・目標達成のための手段としては、合理性が乏しいと思います。
- ・「日本を代表するような…」誕生の意味が、中学生をまきこんで（3年間）継続していけるか疑問です。

学校との関係に不安

- ・目指す目標を学校・行政関係者と共有することが重要となると思います。関係者とのベクトル合わせのための対話を重ねてください。
- ・学校事業への参加という面において、どのように参加していくのか具体策が見えない。
- ・各学校の事情・状況があるので、ある程度自主性を重んじるべきであると考えられるので、協働事業としては疑問である。
- ・現在の小学生は高学年は中学受験で多忙。中学も高校受験のポイントになるため、クラブ活動で多忙。これ以上の子供への負担は無理と思料される。
- ・吹奏楽部に対する一方的な思い入れのような気がするが。
- ・当団体の思い先行でないか？

自主事業がふさわしい

- ・独自事業でやるべきでは？
- ・まちづくりファンドの活用が適切と思われます。

【提案 8】 武西の里山 保全と調査事業

平成 29 年度最終審査 委員会総合意見

- 1 今後の里山保全のあり方を考える上で意義のある事業として評価します。協働の新たなモデルケースとして、成果が広く活用されるよう期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

これからの飛躍に期待

- ・大変意義のある事業です。個人的には事情が許せば参加したいと思います。
- ・里山保全に関する公と民との適切な協働事業のモデルケースとして、成功させてください。期待しています。
- ・大規模作業のにない手がたくさんいる印西市はすばらしい。
- ・市として、行政の事業と、市民との共同事業（共助）の考え方の整理が今後必要か。
- ・困難はありそうだが一度、一緒にやることで見えてくることもあるだろう。

環境・モニタリング調査は成果の検証を

- ・環境調査及びモニタリングに関しては、成果を共有し活用できるような方向で考えて頂きたい。
- ・保全活動の成果が見えるよう、調査を進めて下さい。
- ・モニタリング調査は来年度までぜひ自主事業として取り組んでほしいです。

事業計画に課題

- ・市民へのメリットをもう少し明らかにして欲しいです。
- ・事業目的が希薄である。
- ・事業経費の積算根拠が不明瞭である。

平成29年度企画提案型協働事業（アイデア審査）
「武西の里山 保全と調査事業」
提案に関する委員会付帯意見

- 1 事業の目的や内容が明確であり、市との協働事業にふさわしい企画提案です。
- 2 長期的な展望から高い事業効果が得られるよう、市との協議を進めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

事業目的・内容が明確

- ・事業内容、目的が明確だと思います。
- ・必要な事業で市との協働作業としてふさわしいと思う。
- ・市と住民双方にとって有益と思料される。作業リスクへの対応は今後の課題。
- ・貴団体の持つ専門性が活かすことができる事業だと思います。

さらに発展できる長期的な仕組みづくりを

- ・市の所有地ということで、3年継続後のことを検討していく必要があると思う。
- ・(要望) 市との協働事業として、他の地区の里山保全にも活用、拡大できるようなモデル事業として実施して頂きたい。
- ・(要望) モニタリング調査等の結果やノウハウを里山保全、環境保護資料として、公開して頂きたい。
- ・すばらしい活動だと思います。役務提供をボランティア（無償）の善意によっているようであるが、一定のペイを払えるような仕組みにして、益々発展されることを期待したい。（①活動員の強化、②質の高いサービス提供）
- ・単なる草刈りではなく、生物多様性の維持を念頭に置いた、土地の管理という視点は独特だと思います。団体と行政の協働による、相乗効果を期待します。
- ・現在は武西地区など一般には入れない様ですので、もっとボランティアなど募る為には、気軽に参加出来るイベントが多く開かれる事が望ましいのでは。
- ・長期的なビジョンが市に頼りすぎであり、自らの主体性が希薄です。

【提案9】高齢者支援の為のエンディングノートの作成と配布

各委員の参考意見（ふせんの転載）

自主事業がふさわしい

- ・（意見）エンディングノートの作成の啓蒙活動は大変重要と考えられるが、市民サービスとして協働事業方式で実施するのがふさわしいか否か疑問が残る。（必要とされる高齢者サービスは別にあると思われる。）
- ・対象者が限られている中で、協働である意味がないと考える。
- ・終活は究極の個人的事業。本来他人が介入するべきでないと思料される。リーガルサポートならば、考えられるが、これ以外は協働事業には馴染まないと思われる。
- ・市のメリットが希薄である。

事業計画の再検討とニーズの明確化

- ・高齢社会が抱える課題を的確に捉えていると思います。協働事業として発展させるためには、印西市の事業の中にこの提案内容をどのように位置づけるかの検討が必要だと思います。次のステップでは、この点につき、印西市の担当部局と共に検討することを必ず実施して下さい。
- ・（意見）高齢者を対象とした各種の啓蒙活動（講演会・学習会）を主体とした事業の方が良いと思われる。
- ・市民のニーズが高いかと言うよりは、問題を喚起する啓蒙事業の一つとして、取り組む意義は高いと思う。
- ・市の、当該部門の優先課題と協議して、前向きに検討されて…。
- ・民生委員や生活支援コーディネーターとの連携は必須と思われる。エンディングノートが真ん中ではなく対象者（高齢者）が真ん中で、何が必要か考えてみてはいかがでしょうか。
- ・高齢者支援は市としても必要な事業と考えられるが、本事業はエンディングノートの作成、配布に止まっているので、必ずしも市との協働事業としてふさわしいと思えない。
- ・エンディングノートの優位性、価値をどのように考えていますか。
- ・エンディングノートが市民にどのようなメリットがあるのか、ゴールのイメージを持っていただくと必要性が伝わると思います。
- ・対象を成人式をこえる（こえた）人々とするところもあるかと思えます。

【提案10】 みんなでつくる「木下街道膝栗毛」リターンズ 平成29年度最終審査 委員会総合意見

- 1 文化財の活用、地域の魅力発信に資する企画提案として評価します。新たなコンセプトを提案し、積極的な情報発信に努めてください。多くの主体と協働し、盛大なイベントになるよう期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

イベントの効果に期待

- ・印西市自体を盛り上げる効果は大いにあると思う。
- ・市民のきずなが多いに深まるような気がする。

関係団体との協力体制づくりを

- ・関係団体と協力することはすばらしいアイデアです。
- ・イベントの成功に向けて他団体とも連携して取り組んで下さい。ぜひ市にももっと役割を担ってもらって下さい。

新しいコンセプトや情報発信が鍵

- ・早期に具体的計画をつめて下さい。
- ・具体的計画づくりを急いでください。（イベント企画も含めて）ニュータウンの市民の方に情報発信→参加人数の増加を意図してください。
- ・新しい人（市民）が集まれる機会を作る場の提供として新コンセプトを提案して頂きたい。
- ・単なる復活ではなく、新しい狙いを行政とともにやっていただきたい。
- ・フェイスブックやツイッター、ブログなど無料で利用できるツールを活用して幅広く情報発信していただきたい。
- ・イベントを定着、成功させるには3年はかかると思う。継続イベントとして発展させる為の初年度として成功を祈る。

平成29年度企画提案型協働事業（アイデア審査） 「みんなでつくる「木下街道膝栗毛」リターンズ」 提案に関する委員会付帯意見

- 1 地域のまちおこしや文化継承に資する可能性が認められる企画提案です。
- 2 過去の実施事業の焼き直しではなく、斬新なアイデアに富んだ企画提案となるよう、市と協議を進めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

アイデアの斬新さに課題

- ・印西市の文化を継承していくことは素晴らしいと思う。博物館や美術館がないのであれば何か残す、残るアイデアがほしい。
- ・（意見）昔の「木下街道膝栗毛」リターンという視点からのみならず、市民が印西市の文化財や歴史を再発見できる新しいイベントとして、過去の反省もふまえ再検討して頂きたい。
- ・前回の総括を含め、独自性をどう確保するかが課題。同じものの繰りかえしでは新味がない。
- ・30年度単年度では心もとないです。
- ・単年度限りの事業とのことなので、アイデア等実現に向けて十分に検討していただきたい。
- ・1年に1回のイベントを協働事業とするのは、もったいないと思う。工夫の余地はあると思う。もう少しアイデアを。
- ・構想をもう少し具体化して、再提案いただいた方が良いのではないかと思う。
- ・町おこしに効果があるのでは。
- ・プロジェクトチームの作りかたと進行に注目したいと思います。
- ・次のステップに進む際には、予算規模が大きくなることで、従前の事業内容とどのように変わるのか（事業内容が充実するのか）をしっかりと行政担当部局と共に検討して下さい。